

[First Hit](#)[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

Generate Collection

Print

L8: Entry 10 of 11

File: JPAB

Mar 22, 1996

PUB-NO: JP408079357A

DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 08079357 A

TITLE: AUTOMATIC TELEPHONE SYSTEM

PUBN-DATE: March 22, 1996

INVENTOR-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

AIHARA, TOSHIHARU

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME

COUNTRY

HITACHI DENSHI LTD

APPL-NO: JP06209445

APPL-DATE: September 2, 1994

INT-CL (IPC): H04 M 1/27; H04 M 1/274; H04 M 1/66; H04 M 15/04

ABSTRACT:

PURPOSE: To avoid that a phone call cannot be made because of misdepression of telephone numbers, wrong memory of the telephone number or because carrying of a telephone number directory is forgotten by registering personal identification information, telephone number information and a comment to a recording medium.

CONSTITUTION: A card reader 2 reads personal identification information 22, telephone number information and a comment 23 on a magnetic card 21 inserted into a card insertion port 11 and the personal identification information and a password entered by a key board 5 are collated. When the collation of the password indicates a normal state, the content of the telephone number information and the comment 23 read from the card reader 2 is displayed by a display device 4. When an enter key 10 is depressed, the communication equipment 6 is controlled based on the selected telephone number information and talking is made available by a handset 12 through a communication channel 7. When the speech is finished, the talking destination telephone number, speech time and talking charge are written on a speech recording area of the magnetic card by a card writer 3.

COPYRIGHT: (C)1996, JPO

[Previous Doc](#)[Next Doc](#)[Go to Doc#](#)

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-79357

(43)公開日 平成8年(1996)3月22日

(51)Int.Cl. ⁶	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
H 0 4 M	1/27			
	1/27A			
	1/66	A		
	15/04			

審査請求 未請求 請求項の数3 OL (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平6-209445

(22)出願日 平成6年(1994)9月2日

(71)出願人 000005429

日立電子株式会社

東京都千代田区神田和泉町1番地

(72)発明者 相原 敏治

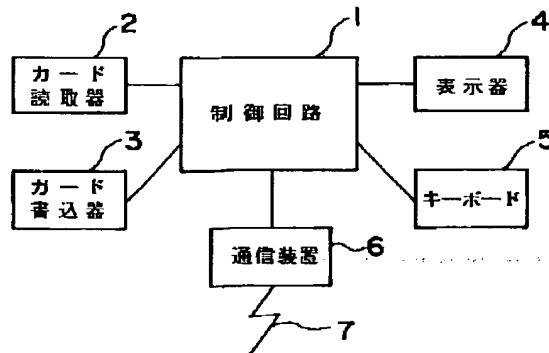
東京都小平市御幸町32番地 日立電子株式会社小金井工場内

(54)【発明の名称】 自動電話機装置

(57)【要約】

【目的】 相手先電話番号の押し間違い、記憶違い、電話帳の携帯忘れ等により相手先電話番号が分からないため、電話が掛けられないという状態を回避し、通話記録、料金の照合、使用経過、行動記録を残すことができる自動電話機装置の実現を目的とする。

【構成】 個人認証情報と、電話番号情報およびコメントを記録した情報記録媒体を用い、カード読取器、書込器、表示器、キーボード、通信装置を持った自動電話装置により、個人認証情報と暗証番号を照合し、正常であれば、情報記録媒体に記録されている電話番号情報およびコメントが表示器に表示され、選択キーにより認意の電話番号を選択することにより、相手と通話でき、通話終了後は情報記録媒体に通話記録を書き込むことができる自動電話機装置。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 電話番号情報およびコメントが記録された情報記録媒体と、上記情報記録媒体からのデータに関連する情報を読み取る手段と、個人情報を入力する手段と、上記情報読み取り手段からの情報と、上記個人情報入力手段からの情報の対応関係を照合する手段と、上記対応関係を照合した結果、一致を検出した場合は、上記情報記録媒体に記録されている電話番号情報およびコメントを読み取り表示する手段と、上記読み取り表示された電話番号情報およびコメントから、特定の情報を選択する手段と、上記選択された電話番号情報に対し、発信する手段と、通話記録を上記情報記録媒体に記録する手段とを有することを特徴とする自動電話機装置。

【請求項2】 上記情報記録媒体に記録される個人情報は、暗証番号であることを特徴とする請求項1記載の自動電話機装置。

【請求項3】 上記情報記録媒体を、電話番号情報とコメントおよび個人認証用情報、通話記録および通話料金情報等を記録する磁気カードあるいはICカードとしたことを特徴とする請求項1または2記載の自動電話機装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は、電話機装置に係り、特に情報記録カードにより電話番号を選択することにより、自動的に相手先電話番号を発信する自動電話機装置に関するものである。

【0002】

【従来の技術】 従来の電話機装置では、相手先電話番号の入力は通話者が手動により、ダイヤルあるいはプッシュ釦を押すことによって行なわれていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 前述の従来技術では、相手先電話番号の押し間違い、電話番号の記憶違い、電話番号帳の携帯忘れ等で、通話できないという問題があった。本発明は、このような事情に鑑みてなされたもので、電話番号情報と、コメントおよび個人認証用情報の記録された情報記録媒体を用いることにより、任意の相手先電話番号に発信でき、通話後は通話相手電話番号、通話時間、通話料金を情報記録媒体に記録することができる自動電話機装置を提供することを目的とする。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は前記目的を達成するため、磁気カードのような情報記録媒体上に個人認証用の情報と、電話番号情報およびコメントを記録し、この磁気カードからの個人認証用情報と、磁気カードの使用者が入力する暗証情報との対応関係を判定し、対応関係が正常であれば、電話番号情報およびコメントを読み取り、表示装置に表示し、任意の電話番号情報を選択することにより、自動的に相手先電話番号に発信し、通

話終了後は、通話記録および通話料金情報を記録するようにしたものである。

【0005】

【作用】 本発明によれば、個人認証情報、電話番号情報およびコメントを磁気カード等の情報記録媒体に登録することにより、相手先電話番号を記憶する必要がなくなり、更に個人認証情報を使用しカード使用者を判定することにより、情報記録媒体が他人に渡った場合の記録情報の漏洩を防止および不正使用を防止する。また、読み取られた電話番号情報およびコメントの表示一覧から相手先電話番号を選択し、通話相手と交信することにより、電話番号の記憶間違いや、相手先電話番号入力の際の押し間違いがなくなり、また、電話番号帳の携帯忘れの場合でも、電話が掛けられる。また、通話終了後、通話相手先電話番号、通話時間、通話料金を情報記録媒体に記録することにより、使用経過を確認したり、料金の照合に利用できる。

【0006】

【実施例】 以下、本発明の一実施例を説明する。図1は本発明に係る自動電話機装置の構成を示すブロック図、図2はこの自動電話機装置の斜視図、図3は磁気カードの構成例を、図4はICカードの構成例を示す。この自動電話機装置は、制御回路1とカード読取器2とカード書込器3と表示器4とキーボード5と通話装置6と通信回線7とから構成されている。カード挿入口11から挿入された磁気カード21は、カード読取器2により個人認証情報22、電話番号情報およびコメント23が読み取られ、個人認証情報22とキーボード5から入力される暗証番号とが照合される。暗証番号との照合が正常であれば、カード読取器2から読み取られた電話番号情報およびコメント23の内容が、表示器4に表示される。電話番号情報およびコメント23の内容が、表示器4に表示できる行数以上の場合には、上送りキー8又は下送りキー9により表示器4上でスクロールを行ない、任意の電話番号情報を表示器4上で選択し、決定キー10を押す。決定キー10が押されると、選択された電話番号情報により通信装置6が制御され、送受話器12により通信回線7を介して通話できる。通話が終了すると、通話相手先電話番号、通話時間、通話料金がカード書込器3により、磁気カード21の通話記録領域24に書き込まれる。

【0007】 図4は、この発明の他の実施例で、情報記録媒体にICカード30を使用する場合の一例である。図4において、カード読取器2に挿入されたICカード30は、入出力端子32を経由して、IC31に接続され、制御回路1により個人認証情報、電話番号情報およびコメントが読み取られる。個人認証情報とキーボード5から入力される暗証番号とが照合され、正常であれば電話番号情報およびコメントが表示器4に表示され、電話番号を選択することによって、通話相手と通信できる

のは、磁気カード21の場合と同じである。通信終了により通話相手先電話番号、通話時間、通話料金がカード書込器3により、入出力端子32を介してIC31に書き込まれる。

【0008】

【発明の効果】以上、説明したように本発明によれば、相手先電話番号の押し間違い、電話番号の記憶間違い、あるいは、電話番号帳の携帯忘れにより電話が掛けられないという状態が回避できる。また、通話記録が残ることにより、料金の照合、使用経過、行動記録を残すこと

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の自動電話機装置の構成を示すブロック図。

【図2】本発明の自動電話機装置の一例を示す斜視図。

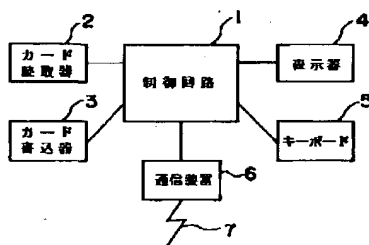
【図3】磁気カードの構成例。

【図4】ICカードの構成例。

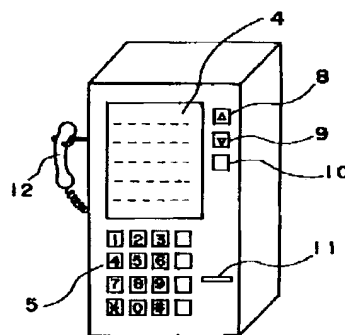
【符号の説明】

1：制御回路、2：カード読取器、3：カード書込器、4：表示器、5：キーボード、6：通信装置、7：通信回線、8：上送りキー、9：下送りキー、10：決定キー、21：磁気カード、30：ICカード。

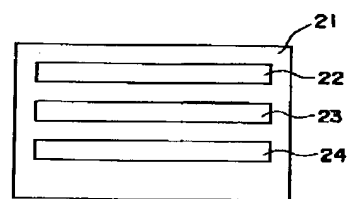
【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

